

## 第5章 計画の推進

### 1 推進体制の充実・強化

#### (1) 計画推進体制の充実

いせはらっ子応援プラン（伊勢原市次世代育成支援対策行動計画）は、福祉、保健、医療、教育、労働、まちづくりなど、幅広い分野にわたります。これらの多岐にわたる施策を総合的かつ効果的に推進する必要があります。このため、「庁内推進委員会」を中心として、関係部局間の有機的な連携や緊密な調整を行い、全庁的な取り組みの充実を図ります。

#### (2) 国、県との連携

計画に掲げる取り組みについては、市が単独で実施するもののほかに、制度や法律に基づく事業や広域的な対応を必要とする取り組みもあります。このため、国、県との連携や情報交換を深め、必要に応じて協力の要請を行い、計画の推進を図ります。

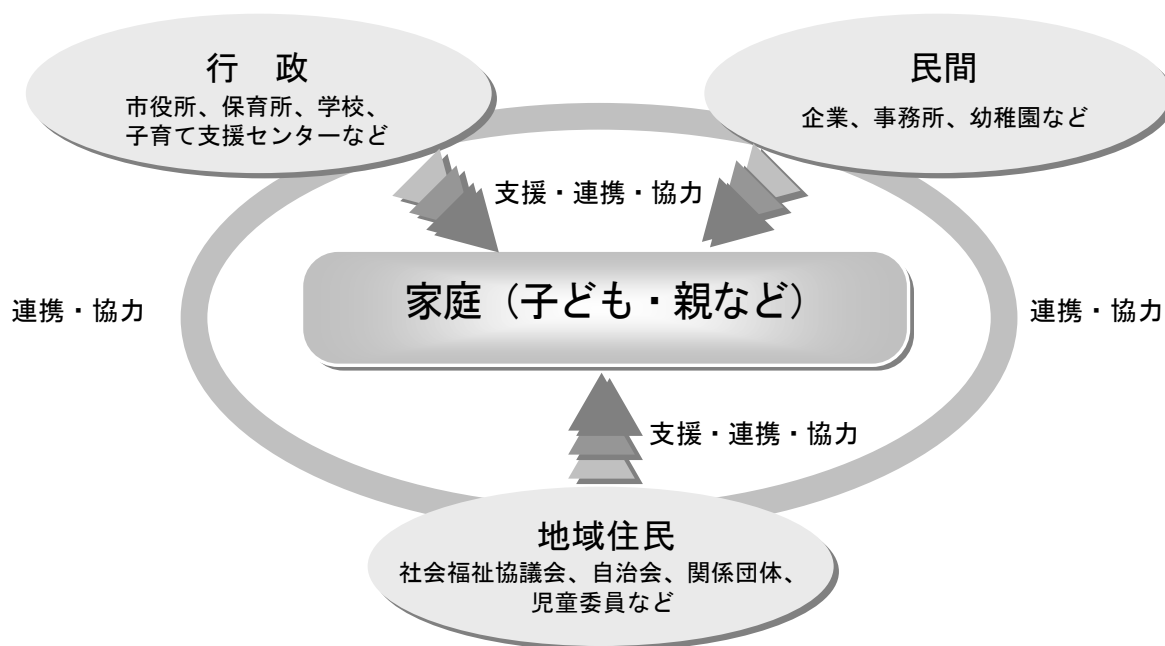
#### (3) 子育て支援の拠点の充実

子育てに関する窓口の一本化として、子ども部を設置し、さらに相談窓口の一元化を図るため、教育委員会等と連携し、児童相談センターを設置しました。

今後は、市民に対して、これらについて広く周知を図るとともに、また、これらの組織を有機的に機能させ、効果的な事業推進を図ります。

#### (4) 地域ぐるみによる推進

効果的かつ着実な施策の推進を図るため、民間の団体や事業所、地域住民の自主的な取組などの社会資源を集約しながら、行政、民間、地域住民といった地域に関連する全ての人の連携による計画の推進に努めていきます。



## 2 計画の進行管理

計画の適切な進行管理を進めるために、市民や学識経験者や当事者などを主体とした「伊勢原市次世代育成支援対策地域協議会」において点検、評価を行い、各種施策の推進や新たな課題への対応などに向けて意見を聞き、今後の施策運営に役立てていきます。

また、計画の進行を管理していく上で、個別事業、基本目標ごとに評価を行い、進捗状況等を把握していきます。

個別事業の評価については、平成 26 年度の目標値を掲げ、毎年の進捗状況の評価をしていきます。

基本目標ごとに基本理念に即した目標（アウトカム指標）を設定し、後期計画最終年度の平成 26 年度にアンケート調査などによって再度評価します。

そして、10 カ年の計画全体の総括をアンケート調査などにより評価を行います。

評価の実施年度

全体計画期間									
H17 年度	H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度
				後期計画 策定	個別事業 評価	個別事業 評価	個別事業 評価	個別事業 評価	個別事業 評価
					.....▶	.....▶	.....▶	.....▶	基本目標 評価
					.....▶	.....▶	.....▶	.....▶	計画全体 評価